



議会だより

かつらぎ

Gikai 2015.5 (平成27年)

発行/和歌山県かつらぎ町議会
編集/議会広報編集特別委員会

65号



最後の入所式(四郷保育所)

主な内容

平成27年度予算

活力あるまちづくりへ積極予算 2ページ

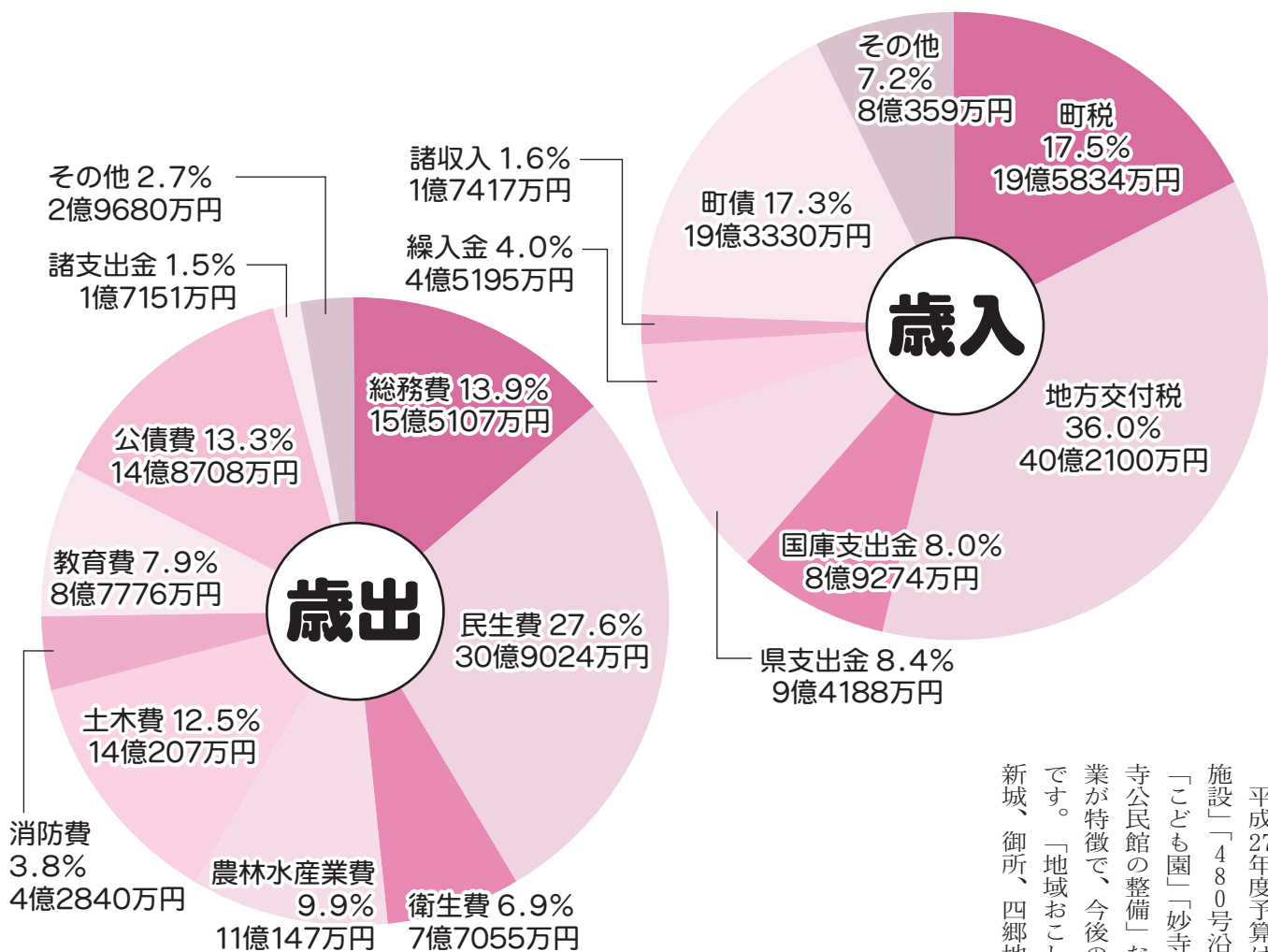
笠田・三谷こども園着工へ 10ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 14ページ

がんばる人紹介 24ページ

平成27年度 当初予算

活力あるまちづくりへ積極予算



平成27年度予算は「京奈和PA振興施設」「480号沿地域振興交流施設」「こども園」「妙寺団地の建替え」「妙寺公民館の整備」など多くのハード事業が特徴で、今後の運営や管理が課題です。「地域おこし協力隊」が花園と新城、御所、四郷地区で活動し、地域

の活性化が期待されます。健康対策では、医師による「健康づくり活動推進アドバイザー」を設置して健康対策を強化します。
また、「ため池調査」や「消防団無線デジタル化」など安心安全なまちづくりに取り組みます。

会計別予算額

会計名	平成27年度	平成26年度	伸び率	
一般会計 A	111億7700万0000円	103億1800万0000円	8.3%	
特別会計	住宅新築改修資金等貸付事業	—	572万2000円	△ 100.0%
	シビックセンター	4781万7000円	4538万3000円	5.4%
	国民健康保険事業	30億3053万8000円	26億7799万2000円	13.2%
	天野診療所事業	1015万3000円	979万1000円	3.7%
	後期高齢者医療事業	5億854万2000円	5億2895万0000円	△ 3.9%
	介護保険事業	25億1422万6000円	24億8742万0000円	1.1%
	下水道事業	6億2240万4000円	5億9445万3000円	4.7%
	花園地域交流推進施設運営事業	4億292万7000円	3億6553万8000円	10.2%
	花園守口ふるさと村運営事業	2770万0000円	2490万1000円	11.2%
	花園梁瀬簡易水道事業	434万4000円	546万1000円	△ 20.5%
合計 B	71億6865万1000円	67億4561万1000円	6.3%	
水道事業会計 C	6億6434万9000円	6億6204万4000円	0.3%	
総合計 A+B+C	190億1000万0000円	177億2565万5000円	7.2%	

妙寺団地建替事業

期間 平成25年度～35年度
27年度は24戸の建設と
1棟3戸の解体撤去

4億
1049
万円



完成予想図

平成27年度 主な事業

健康寿命の取り組み

特定健診の集団検診が7日間から8日間へ
紀北分院で特定健診や人間ドック実施見込み

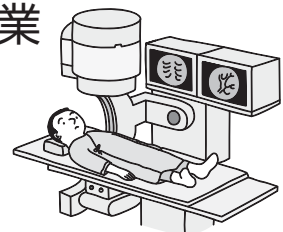
医療分析調査
プロジェクト事業

15万円

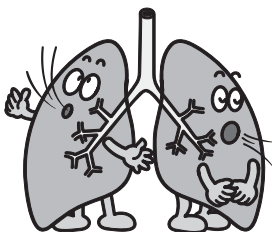


動脈硬化検査事業

1600
万円



肺がんCT健診事業補助金



249
万円

在宅医療推進
協議会委員報酬

45万円



紀の国わかやま国体



少年男子ゴルフ

9月27日（日）～
9月29日（火）
紀伊高原ゴルフクラブ

オリエンテーリング

9月6日（日）
（一般町民参加OK）
紀北青少年の家



3216
万円



防災対策の強化

ため池調査

800
万円

ため池のハザードマップ作成

1200
万円

土砂災害ハザードマップの作成

110
万円

内水対策のための 紀の川河床整備

665
万円

地域おこし支援

田舎暮らし体験施設整備事業

地域の空き家を買って上げて改修し、移住希望者に貸し出します。

3558
万円

地域おこし協力隊事業

花園地域2人、新城・御所・四郷地域に各1人の計5人が地域の活動をサポートします。

1269
万円



文化財保護事業等

町石道の保存整備事業

60
万円

文覚井修理費補助金

20
万円

さざんかの老樹治療事業補助金

30
万円

宝来山神社保存修理補助金

535
万円

丹生都比売神社修理 事業等補助金

409
万円

1054
万円

介護保険事業

第6期標準介護保険料は月額6700円（年8万400円）に（県内第2位）

25億
1422
万円

2次予防事業対象者把握事業

65歳以上で介護認定を受けていない人への生活機能チェック事業です。

178
万円



高齢者サロン事業

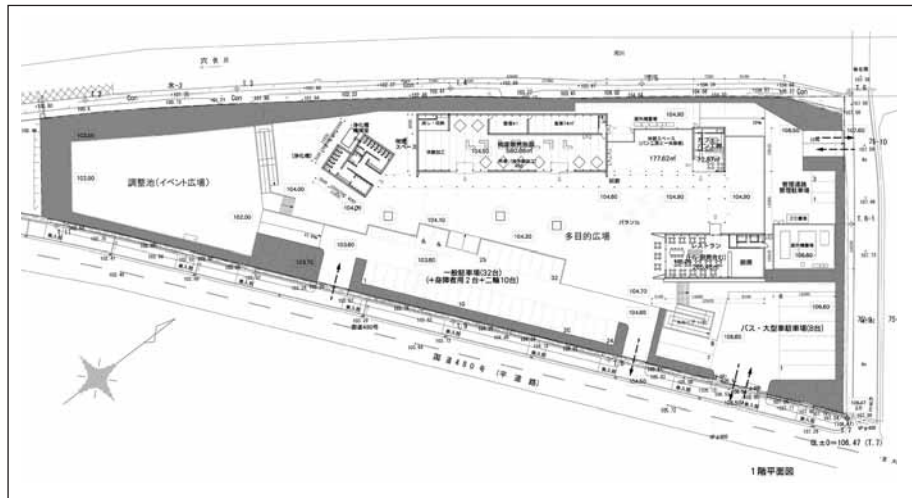
住民による自主運営事業への補助です。高齢者が楽しく集えるサロンを作っています。

366
万円



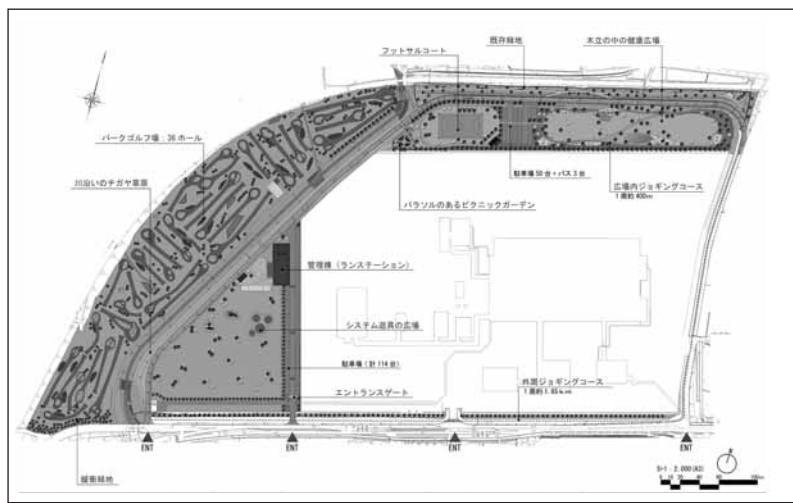
国道480号沿地域振興交流施設建設

5億
6678
万円



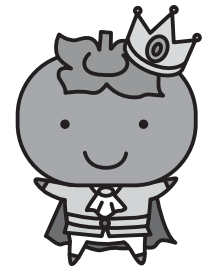
四郷の480号沿8909㎡の用地に物産販売所、加工体験施設、レストラン、パン工房、イベント広場などを建設します。平成27年度は指定管理者の選定と建設工事を行います。480号府県間トンネルは平成28年度完成予定です。

かつらぎ西部公園整備事業



約12億円をかけて伊都浄化センターにかつらぎ西部公園（都市公園）を整備します。完成は平成31年度で、パークゴルフ場とフットサル場、大型遊具、芝生公園等が整備される予定です。今年度は設計を行います。

6870
万円



西渋田児童館新築事業



8801
万円

妙寺公民館整備事業



1841
万円

こども園－交通手段ない保護者 町が責任を持って検討



工事中の笠田こども園

問 町内2カ所のこども園となり、通園が遠くなる人が多くなります。家庭事情により送迎できない人も出てくると予想されます。保護者事前説明会の早期開催や聞き取り、アンケート調査などを実施した上で、送迎できないと回答した保護者に対し対応すべきだと思いますか。

問 7億数千円の大プロジェクト事業であり、失敗は許されません。運営は指定管理者に任せるとのことですが、正式募集前であっても町のホームページなどで広く募集し、募集期間に余裕を持たせ、多くの事業者の中から選択できるようにすべきではないですか。

問 来年4月にオープンとのことですが、鍋谷峠トンネルの開通が遅れることにより、大阪からの交流は1年程のブランクが予想されます。その間の施設運営について

問 今後の工程はどうなっていますか。
産業観光課長 6月会議負と指定管理の議案を出せばと思っています。

産業観光課長 4月から募集をし、6月中頃までに選定を終わりたいと考えています。

町長 これから検討して何らかの方策を検討していますか。

一般会計に対する主な質疑
平成27年度一般会計予算は111億7700万円で、昨年と比べると8億5900万円、8.3パーセントの増加となりました。
採決の結果、一般会計を含む4会計が賛成多数で可決、7会計が全員賛成で可決しました。
以下、6～9ページに予算に対する質疑応答と討論を掲載しています。

国道480号沿地域振興交流施設 平成28年度オープン予定

教育総務課長 保護者説明会は早期に実施したいと考えています。どうしても送迎できない人には、タクシーなどの利用も考えています。
問 保育料は、所得税から住民税を基本に計算するように変更された結果どうなりましたか。

か。保育料は規則から条例に変更されますか。
教育総務課長 本町は平成22年度に廃止された、年少扶養控除の考え方を採用して保育料を設定しました。現行の保育料が変わらないようにしています。保育料の条例化は、平成28年度から施行を検討したいと考えています。

問 こども園の運営方針はどこで作られていますか。
教育総務課長 幼稚園教育要領と保育所保育指針で従来からやっています。保育所長会でも意見を聞き、法人とも協議し協定書に盛り込みます。

平成27年度見直し

コミュニティバスを便利に

町は、平成26年5月末、コミュニティバスの河北コース廃止を含むダイヤ改正を行いました。しかし、同時期に和歌山バスが減便されました。議会は町民の公共交通を確保するために、コースの増設や乗り継ぎ改善など、見直しを求めてきました。

問

コミュニティバスの運行見直しはどのようになっていきますか。

総務課長

前回の見直しの後、和歌山

バス那賀の減便がありました。平成27年度中に河北コースを含む見直しを現在検討しています。

問

職員が全コースに

乗車し問題点を発見してから見直しをしてください。

総務課長

乗り継ぎ

などの面も含めて見直したいと思っています。



コミュニティバス

残業代は全て払います

問

予算がなくても課長は超過勤務を命じています。超過勤務として手当てを支払う責任があると思いますが。

町長

現在の超勤手当の予算は基本給

の9・2%。すべて支払えると思っています。必要なら補正予算で対応します。

地域おこし対策の充実を

問

地域おこし協力隊は、主に中山間地

域を中心に配置されていますが、中心市街地にも配置する必要があるのでは。

企画公室長

具体的な検討を始めています。

妙寺団地の建て替え

第1期工事始まる

問

妙寺団地第1期工事が始まりますが、工事等による周辺地域の影響は。

建設課長

隣接の土地所有者および妙

寺・丁ノ町自治区長へは説明しました。関係する町内会へは3月に回覧で通知しています。工事用車両は北側から団地に入るように予定しています。

問

町道妙寺75号線改良工事によってどの程度浸水が防げますか。

建設課長

妙寺中学校北側の妙寺団地、

と旧体育館の間の道路で、いつも大雨や台風などで家屋の浸水が生じていました。

排水の改修等でかなり改善されると思います。

問

高田のコミュニティ住宅は、どういう形で町営住宅に変わっていきますか。

建設課長

立ち退きで入居している現

在の方々が、何らかの理由で退去することになれば、その住宅から順次町営住宅に移行します。

問

多面的機能支払交付金事業などの農業振興政策で、対象者として公平性に欠けているので、原則公募すべきではないですか。

町長

公募にそぐわないものもありますが、今後検討します。

産業観光課長

検討します。

問

観光振興アドバイザーを置くなら、年数百万円位の報酬を出して本格的な観光振興にすべきではないですか。

一般会計

(反対)

ハコモノ突出、福祉後退

「何とか活性化の糸口を見出したい」という「あせり」から京奈和PAと国道480号への物産販売所の建設を、議会にもまともな説明もなく、町長のトップダウンで決定したもので、こども園建設も同様です。財政負担が町民に転嫁されるハコモノ建設に突出した予算であり、介護保険料も大幅に値上げされ、福祉も後退しています。

宮井 健次

(賛成)

町の活性化が大いに期待できる予算として評価

第4次長期総合計画に基づいた、町の活性化に向けた予算です。前年度に比べ8億6千万円の増加となっています。今まで取り組んできた四郷の地域振興交流施設・妙寺団地・こども園の建設や、西部公園整備・妙寺公民館の改修など新たな事業に取り組む予算も計上され、町づくり施策の実現に向けて着実に進めていくという予算であり評価します。

小林 総一

介護保険事業特別会計

(反対)

制度改正、保険料軽減を

高い介護保険料負担に苦しんでいる高齢者がいます。特別養護老人ホームの費用負担に四苦八苦している若い世代がいます。低賃金のなか、腰痛などに苦しみながら働く介護職員がいます。現在の介護保険制度に対し理由をつけて評価するのは、極めて罪深い行為です。誰でも使えるように制度を改正し保険料を軽減することは、どうしても必要です。

東芝 弘明

(賛成)

130床増で待機者なし

保険料が標準で月額6700円の設定は、県下全体を見れば、上位の保険料ですが、介護施設の新・増設で130床増えて待機者が少なくなれば高齢者本人も安心でき、家族の負担も少なくなります。また、町民からみれば身近に入所できる介護施設があれば、将来に対する不安も解消できるため、6700円という保険料は応分の負担と考えます。

松岡 宏行

後期高齢者医療事業特別会計

(反対)

この制度は廃止すべき

後期高齢者医療制度は、75歳以上の人を別枠の保険制度に強制加入させ、所得の低い高齢者に重い負担を押しつけるものであり、保険料改定ごとに制度改悪を繰り返しています。この制度は、国民に差別と分断を持ち込むものです。私は、制度への根本的批判とともに9割と8・5割軽減を中心とする特例軽減を廃止したことへの怒りを表明します。

東芝 弘明

(賛成)

健康寿命日本一にむけて

当制度は県全体で行われるものであり、8年目で安定した運営が行われています。平成27年度は大幅な改定がなく、低所得者にも救済措置がされており評価されます。本町は健康寿命日本一を宣言のもと、健康対策を推進し高齢者が安心して医療を受けられるよう、安定した運営に取り組むことを願います。

溝北 好一

水道事業会計

(反対)

さらに値下げは可能

平成25年度、本町の水道料金は10%値下げされましたが、經常收支比率は141%となりました。消費税8%への転嫁で節水によって使用水量は減少しましたが、約5800万円の純利益を見込んでいます。値下げも消費税増税により効果が半減。さらに基本料金10%の引き下げは充分可能です。

宮井 健次

(賛成)

老朽管布設替工事を前倒し

平成27年度予算で、佐野浄水場補強工事および老朽管布設替工事等を前倒して実施するため、資本的収支の不足額1億1792万円を建設改良積立金・過年度分損益勘定留保資金から補填します。町民に安心、安全な水を供給するため経営努力を期待します。

藤本 憲一

笠田・三谷こども園着工へ

12月完成めざし

1・2・3月会議

- 1月会議を1月7日に開会し、その日のうちに終了しました。
議事内容は
・ 条 例 1件
- 2月会議を2月17日に開会し、その日のうちに終了しました。
議事内容は
・ 補正予算 1件
・ 条 例 1件
・ 契 約 7件
- 3月会議を3月3日に開会し、27日に終了しました。
議事内容は
・ 平成26年度 補正予算 15件
・ 平成27年度 予算 11件
・ 条 例 17件
・ その他の議決 3件
・ 継続審査 1件
・ 陳情取下げ 1件
・ 諸 報 告 1件
・ 一般質問 8人

詳細は紙面に掲載しています。

今年の会期は352日間

本町における平成27年の通年議会は、1月7日から12月24日の352日間となりました。この352日間が一つの会期となります。年の初めの最初の議会だけ、町長が議会を招集しますが、それ以後の議会は議長が招集することになります。352日間議会が閉じられていませんから、本会議と委員会を必要に応じて開くことができます。

2月会議

国道480号沿地域振興交流施設の設置、管理にかかる条例や、笠田・三谷こども園(仮称)、四邑公民館の工事請負契約が可決されました。
こども園は今年12月までに完成する予定です。

問

病児保育は、部屋の隔離ができていない。なぜトイレや玄関が共有なのですか。

教育長

トイレと玄関を共有するのは、体調不良時対応型の病児保育で、看護師2人が配置されます。

町長

子どもが家庭で熱を出した場合、は預かりません。保育中、熱を出した子どもを迎えに来るまで預かるというものです。

問

議会に今まで全く説明がないまま、どうしてこのような工事請負契約となるのかわかりません。送迎バスも含め2園への送迎はどうなりますか。

賛否が分かれた工事請負契約

工 事 名	議員名 結果	赤阪	浦中	宮井	東芝	大原	新堀	氏岡	福岡	雑賀	溝北	小林	藤本	松岡	福井
		岩男	隆男	健次	弘明	清明	行雄	誠	久二子	増己	好一	総一	憲一	宏行	強太
笠田こども園(仮称)建築工事	10対3で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
笠田こども園(仮称)電気設備工事	10対3で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
三谷こども園(仮称)整備建築工事	9対4で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●
三谷こども園(仮称)整備電気設備工事	9対4で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●
三谷こども園(仮称)整備機械設備工事	9対4で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●

(注) 赤阪岩男議員は、議長のため採決には加わらない。

○は賛成 ●は反対



山間部送迎バス

教育総務課長 笠田こども園には、

洪田に行っていた送迎バスと四郷からのバスが入ってきます。三谷こども園には送迎バスはありません。保護者が自ら送迎することが基本です。

町長

笠田こども園は、送迎用の駐車場を借りるよう取り組んでいます。三谷は、園の東側に30台ほど停めることのできる駐車場を確保します。

討論

私はこう思う

三谷こども園工事請負契約

(反対)

煮え湯を飲めというのか

病児保育も送迎バスも、実現するものは、今までの町当局の説明とは全く違うものになります。これでは、煮え湯を飲めということになります。議会のチェック機能が問われています。議員が感じている痛みを町当局は感じていません。何でも許すところに緊張感はありません。事業が信頼できるものになるよう、姿勢が根本的に改まることを願います。

東芝 弘明

問

四郷からバスが来るのは初めて聞きました。三谷にバスが走らないのは驚きです。

教育総務課長

バスは、最初からこの方針でした。

480号沿

振興交流施設

問

議会に一切情報が出されていません。施設概要もよく分かりません。事業はどういう到達点にありますか。

産業観光課長

基本計画はできています。条例可決後に指定管理の公募を行います。現在設計中で27年度中に建設します。ただし府県間トンネルは、28年度開通となり、一年延びました。

プレミアム商品券発行

かつらぎ町を元気に

3月会議

地方創生元氣事業

地方を元気にするため、国の地方創生戦略により①地域の消費拡大②地方の経済活性化③仕事場の確保④地方へ新しい人の流れをつくるなどの事業が成立し、本町でも具体化が始まりました。

問

今回の商品券の特徴は。

産業観光課長

1万円まで
1万3000円分の商品券になります。

販売管理は、商工会に委託します。8月から販売します。交付金事業なので平成28年3月31日までに完了することが求められており、今回は1月31日までという使用期限を設けています。

問

商品券取扱店としての登録はどのようにするのですか。

産業観光課長

商工会で登録を受け付けます。全事業所に案内しますが、漏れたと

ころは産業観光課で案内をします。

問

スーパーなど特定の業種や業者に片寄らないですか。

産業観光課長

効果があるよう工夫したい。

問

取扱店は受け取った商品券を、どうすれば換金できるのですか。

産業観光課長

金融機関の窓口で換金できます。手間が負担とならないよう対策を考えます。

地方創生で働く人を応援しよう 起業・事業所支援



問 地方版総合戦略策定は、第4次長期総合計画の5年間と重なることとなります。第4

長計を中心にした具体化をきめ細かくやるべきではないですか。
また、その際多くの町民に第4長計で目指すかつらぎ町の将来像を説明

し、理解してもらおう努力が必要では。

企画公室長 第4長計は、1万7000

0人の人口確保を目指しています。実現するためには、PRビデオの制作は、

PRビデオの制作は、業務委託します。

問 定住促進PRビデオの制作は、職員

が企画してはどうですか。プロにまかせるより素人の方がインパクトがあるのではないですか。

企画公室長 PRビデオの制作は、業務委託します。

問 起業支援は町内どこでも可能となっ

ていますが、例えば中心市街地などの地域特定や職種を限定するなど、町の活性化に役立つような方法を考えてはどうですか。

産業観光課長 今後、検討したい。

問 定住促進の住宅補助は、若者の生活

・子育て支援として継続すべき。UIJターンに生かすことも考えるべき。

山間部については、水道の加入分担金に対する補助金を考えるべきではないですか。

企画公室長 住宅の家賃補助が、定

住促進には効果が薄いと、いう分析を行いました。本町に住みにくさがあるという分析まではできていません。生活・子育て支援については、具体的に考えます。

町長 水道の加入分担金の件については検討したいと思います。

問 企業支援と雇用奨励金については、

田舎における企業の具体例を研究するとともに、現在運営している組織などが、会社になるとどのようなメリット・デメリットがあるのかなど研究すべき。高校生など若い世代が、かつらぎ町内の企業に就職できるような働きかけをすべきだと思います。

補正予算（2月・3月会議の合計額）

会計名		補正額	補正後の予算総額
一般会計		1億6186万3000円	110億4010万1000円
特別会計	住宅新築改修資金等貸付事業	0円	663万2000円
	シビックセンター	△145万1000円	4356万2000円
	国民健康保険事業	△719万1000円	27億5430万1000円
	国民健康保険天野診療所事業	△10万7000円	979万0000円
	後期高齢者医療事業	△1082万9000円	5億1914万2000円
	介護保険事業	△339万7000円	24億9972万7000円
	下水道事業	△68万1000円	5億4804万3000円
	花園地域交流推進施設運営事業 花園梁瀬簡易水道事業	△484万4000円 △60万0000円	3億8738万3000円 643万7000円
水道事業会計	収益的・資本的収入	208万0000円	6億2728万7000円
	収益的・資本的支出	△3812万6000円	6億6246万2000円

町長 これまでにはない新しい施策です。働く場を多く作り、住宅から通勤圏に就職している。職種に広げ、情報の提供をしたいと思います。



築野食品工業株式会社

介護保険料改定 月額950円アップ



みんな元気 (妙寺・茶屋出のサロン事業)

介護保険制度は、3年ごとにその中身が改定されることになっています。平成27年度は第6期の初年度です。介護保険料の標準月額が5750円から6700円になりました。

問 なぜ標準保険料が6700円になったのですか。

やすらぎ対策課長 紀美 野町

に次いで2番目に高い保険料となりました。高くなった理由は、介護給付の予測が高いからです。

原因の分析を行います。

問 保険料を6000円に抑えるためには、どれだけの財源が必要ですか。

やすらぎ対策課長 年間5400万円程度です。

問 事業所に対する介護報酬がなぜ2・27%減額されたのですか。

やすらぎ対策課長 特別養護老人ホームなどの利益率が高いので減額されました。本町



の場合、第5期までは地域加算として3%の上乗せがありました。第6期はなくなりました。ちなみに橋本市は、3%の地域加算が6%に増えました。

平成25年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告

報告書は法律に基づいて議会に提出する義務があり、99項目の事業について、自己評価及び外部評価委員会の判定と意見が載せられています。

問 就学援助事業は、申請の際に民生委員の推薦が義務付けられています。撤廃すべきではないですか。

教育総務課長 撤廃の方向です。

問 中学校区内の小学校交流事業は、私立に進む子どもたち、地元の公立中への進学を促す効果はありますか。

教育総務課長 事業内容の見直しも必要と思います。

災害時の受益者負担軽減

問 農業者にとって、農業用施設の災害復旧における負担が、7%から5%に軽減されることはありがたいことです。資材補助等における負担も軽減できるよう、引き続き取り組まれますか。

町長 検討したい。

賛否が分かれた条例 (注) 赤阪岩男議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ●は反対

件名	議員名 結果	赤阪	浦中	宮井	東芝	大原	新堀	氏岡	福岡	雑賀	溝北	小林	藤本	松岡	福井
		かつらぎ町職員定数条例	10対3で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○
かつらぎ町介護保険条例	10対3で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

一般質問

町民のおもいを届ける60分



答弁する井本町長

一般質問は、議員が事前に提出した通告書に基づいて、町政に関する提案や質問を行うものです。持ち時間は一人60分。なお、記事は、質問者の責任において作成されたものです。

1 福井 強太

- 協働のまちづくりについて
- 近隣市町との活性化に向けた連携
- 町民参加型の町づくりに向けた取り組み等

2 東芝 弘明

- こども園の開設とともに送迎用バスの導入を提案
- 本町職員の残業改善について

3 松岡 宏行

- 子どものインフルエンザ予防接種と乳児のロタウイルス予防接種の助成により子育て支援を図る
- 町内企業を支援するため、町長の定期的な企業訪問を

4 宮井 健次

- 「農協改革」と本町の町づくり
- 空き家対策について
- 防災・震災対策について

5 福岡 久二子

- 佐野廃寺を文化財として生かすために

6 溝北 好一

- 本町における防犯カメラの実態
- スポーツで魅力ある町づくりを

7 藤本 憲一

- 観光交流人口の拡大計画案について
- イベント等による集客率アップ
- 観光客の交通機関
- 広域的な観光振興共同体の設置

8 浦中 隆男

- 今後の町政運営について

近隣市町と連携した新しい「協働のまちづくり」を

町長 近隣との連携・協働について一つ一つ進めてまいりたい



福井 強太 議員

問 本町の活性化に向けた近隣市町との連携についてお答えください。

企画公室長 近隣市町との活性化に向けた連携組織として、和歌山線活性化検討委員会、橋本伊都広域観光協議会、紀の川道広域観光協議会、和歌山県世界遺産高野地域協議会、新年度から真田丸和歌山誘客キャンペーン推進協議会があります。

問 住民の方々が参加した協働のまちづくりに向けた取り組みについてお答えください。

企画公室長 町全体として、ごみの

分別説明会、住民アンケート、行政説明会、健康づくりの講演会、防犯情報ネットワークショップの説明会があり、地域主導型として四郷・天野・新城地域において過疎集落支援総合対策事業に取り組んでいます。

問 本町の長期総合計画の中には「協働のまちづくり」ということが定義され、様々な事業に取り組んでいます。しかし、町全体で「協働のまちづくり」という認識は共有されているのでしょうか。私自身協働のまちづくりとは、町民の方はもちろん近隣市町と手を取り合うことであり、これからの地方分権の時代を勝ち残る唯一の手段であると考えています。高野山開創1200年記念大法会・NHK大河ドラマ「真田丸」等この直近でも他市町に類を見ない大きなチャンスが本町には訪れています。しか

し、そのチャンスをつかむための花園ふるさとセンター、国道480号沿物産販売所、京奈和PAの物産販売所、かつらぎ西部公園などの手段はまだ整備中です。高野山開創1200年記念大法会開始に向けたPR等の協力やアンテナショップの役割を担い、本町の豊富にある農産物などの販売の連携はできなかったのか。九度山町の「真田丸」決定に向けての取り組みのPRや、協働での取り組みはできないのか、など連携による活性化のチャンスは溢れています。そこで提案です。長期総合計画を基に中期的な活性化に向けたグランドデザインを描き、近隣市町の政策等との強固な連携と町民の方々の思いを反映した、新しい「協働のまちづくり」を考えてはどうか。

町長 提案いただいた町の活性化には、農林業や商工業、観光等

の経済活動の活性化、人口をどう維持するかということなど、あらゆる面での取り組みが必要であります。近隣市町との連携・協働は活性化に向けて最も重要であり、それと同時に住民の皆さんの意思をどう反映するかということについても、一つ一つ進めてまいりたいと考えています。



交通手段を持たない保護者は

教育総務課長 対応が必要だと思います



東芝弘明 議員

問 当時の課長は、妙寺公民館の説明会で住民の声に押されて送迎バスを走らせると答弁したのではないですか。

教育総務課長 送迎バスは「現在の通園体系を維持する」「遠隔地である四郷にもバスが必要である」と説明しました。

問 提案します。妙寺地域については、スクールバスと同じように送迎バスを走らせるべきです。

教育総務課長 保護者の本です。これは変わりません。

問 もう一つの提案です。交通手段を持たない保護者には、送迎を考えるべきだと思います。

残業代は支払うべき

町長 発生抑制と残時間の消化に努めます

問 本町は、予算がなくなると職員に残業代を支払わず、代休取得を求めています。この代休は、携帯電話の無期限繰り越しのように年度を超えます。間違いありませんか。

総務課長 これは勤務時間の割り振りです。

問 橋本市や和歌山県には、このような運用はありません。県の市町村課は、「町の運用は勤務の割り振りには当たらない」と指摘しています。勤務の割り振りは、

教育総務課長 交通手段を持たない保護者がいた場合は、対応が必要だと考えます。

週38時間45分を月曜から金曜日に割り振り、土日を週休日にするというものです。勤務した後の平日の残業は、超過勤務です。割り振った後で発生した残業は割り振れません。

総務課長 制度を適切に運用できていない面もあるので見直します。

問 予算がなくなったときに超過勤務命令を出しているのか、いないのか。ここが焦点です。

総務課長 予算がない場合、超過勤務命令を出すことは考えられません。出しているのは、勤務時間の割り振りです。

問 後日書類をいただきたい。超過勤務命令であれば課長の答弁は崩壊します。超過勤務命令を出していたら残業代を支払わなければならない。この関係は認めますか。

総務課長 超過勤務命令に対しては、超過勤務手当を支給します。

問 割り振れていない残業の一覧表による。

れば、平成24年4月1日現在で10万4407時間あります。過去3年間で退職時未消化だったのは38人、1万728時間であり、残業代が支払われず退職しています。日本の場合サラリーマンの比率は8割、賃金や働き方の問題でのルール違反は、社会そのものを不正にする重大問題です。新年度から残業代を支払うべきです。平成26年度以前の問題は、職員労働組合とよく協議して解決を図るべきです。

町長 新たな発生抑制とともに残時間の消化に努めます。残時間を消化して正常に戻したいと思います。



仕事中の町職員

子どものインフルエンザ予防接種と 乳児のロタウイルス予防接種の 助成により子育て支援を

町長 医師の意見も入れて対応したい



松岡宏行 議員



すくすく教室

問

親は子どもの健康を考えると家族全員が予防接種したいし、例えば、家族4人接種すれば、2万円近くの負担になるので、高齢者への助成と同じように、イン

フルエンザの予防接種を中学生まで助成を要望します。

やすらぎ対策課長

5歳まで

にほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。乳幼児は、激しい症状が出る

また、乳児のロタウイルスによる胃腸炎について、小児科医より子どもが大変でほんとうにかわいそうやと聞きました。ロタウイルスとは。

感染したときに症状が強くなります。主な症状は、水のような下痢、吐き気、おうと、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となり、入院が必要になります。

問

発症した場合の治療方法は。

やすらぎ対策課長

現在、

ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。感染予防の方法としてワクチンがあり、接種費用は3万円近くです。

問

ロタウイルスについては医療機関で予防接種を奨励したり、

町内企業を支援するため 町長の定期的な企業訪問を

町長 定期的に訪問したい

問

活力あるかつらぎ町にするには、先ずは町民の健康、次に地域社会の連帯、そして、産業経済と考えます。この経済で大きな役割を担っているのが法人です。平成26年度、町長は何社の経営者と懇談されましたか。

町長

平成26年度は訪問していません。

問

町内企業が元気で、給与所得者の税収や固定資産税などを含む大きな財源です。町内の企業がどんどん元気になってもらうには、行政としてどんな支援が必要か、

また、どんなインフラ整備が必要か把握することが重要です。産業観光課としての取り組みは。

産業観光課長

昨年度より企業誘致した企業3社をはじめ、他に8社訪問しています。

問

町長が、定期的かつ計画的に企業を訪問し、町への要望、さらには県や国への要望を聞いて政策に反映することが町長の責任と考えます。先ずはトップどうしで話し合うことだと考えますが、いかがですか。

あわせて、町のさまざまな事業を説明してまちづくりの協力をお願いする。特に、一人でも多くの若者が地元企業に就職できるように定住や雇用対策を強化することが必要と考えますが。

町長

定期的に訪問することに大きな意義があるので、なんとか年に一回ぐらいは企業訪問したい。

木造住宅耐震化促進に 町独自で費用負担の軽減を

町長 計画の中で検討したい



宮井 健次 議員

問

阪神淡路大震災から20年。最大の教訓の一つに、住宅の倒壊による死者が80%以上であったという事実があります。この事実を踏まえお尋ねします。第一は、本町の木造住宅の耐震化対策について、この10年間でどの程度耐震化率が進んでいるのですか。

問

進まない主な原因は改修費用の負担です。そこで提案したいのは、家全体を改修するのではなく、耐震ベッドや耐震シェルターといった部屋の一角を耐震化するやり方です。和歌山県

建設課長

約5%程度です。

問

では、平成26年度事業化しており、市町村でも具体的な要綱を作成するよう指導しています。その際、対象を高齢者、障害者等に限定せず、幅広く

避難所に防災用の井戸設置を

避難所に防災用の井戸を設置すべきではないか。震災時に必要なライフラインの中で水が最優先課題です。厚生労働省の指針によると

1人当たり震災発生から3日間3㍓、10日間20㍓、21日間で100㍓必要だといわれています。現状では、町内61カ所の避難所のうち15カ所が公共施設ですが、井戸として機

能している所は1カ所もありません。既に兵庫県ではすべての小中学校の避難所に井戸の設置を決定しています。町長はどう考えますか。

井戸は有効な水源です。町内の井戸を調査して、災害時の水道が機能不全になったときに飲料水等確保したいと思います。

町長

計画の中で検討したい。

福祉避難所の早期確保を

問

福祉避難所の確保と周知の問題です。先日、町主催で妙寺地区の自主防災組織を対象に、「災害時の要援護者支援」をテーマとしてグループ討論が行われました。その際、障害者の方から福祉避難所を作ってほしいという切実な要求がありました。町当局の対応

は。

総務課長

本町は未設定です。平成23年愛光園と協定を結んでいます。平成23年愛光園と協定を結んでいます。浸水想定区域にあり、人材、機材等の問題も加わり、指定に至っていません。引き続き取り組みを進めていきたいと思ひます。

防災士の活用を

問

防災士の活用について3点提案したいと思ひます。一つ目は、現在54人登録されていますが、町が中心になって組織化して活用すること

は空白地域もあります。地域的にもバランスを考えた配置をすべきではないですか。

町長

組織化については、職員については、今後検討するとともに、地域的アンバランスを解消するよう人数を増やしていきたい。

防災士の資格をとること。三つ目は有資格者が妙寺、笠田地域は2桁いますが、その他の地域は一人あるい

《防災士登録者》

自主防災組織	22
消防団員	6
民生委員	1
消防職員	1
町職員	5
日本赤十字奉仕団	1
婦人防火クラブ	1
個人	17
計	54

妙寺	21
大谷	6
笠田	14
四郷	6
三谷	2
渋田	2
四邑	1
天野	1
花園	0
町外	1
計	54

文化財を生かすために協働のまちづくりを

町長 状況を見ながら、まちづくり推進系の充実をはかりたい



福岡 久二子 議員



発掘後の現地説明会（平成26年8月31日）

問

佐野廃寺について、これまでの取り組みの経過を。

生涯学習課長

昭和52年
度から60

年度にかけて9回にわた

る発掘作業を行いました。

平成25年3月29日に塔跡

・金堂跡を町史跡として

指定、同11月27日に公有

地化をし、その間に佐野

廃寺塔跡・金堂跡整備委

員会もできました。その

後昨年10月まで1年近く

かけて、史跡整備のため

の発掘調査を行っています

す。今年1月には、佐野

自治区と西大谷分区およ

び佐野廃寺を考える会か

らの要望書を受理してい

問

昨年の発掘でわかったことは。

生涯学習課長

塔跡と金
堂跡の正

確な位置と、基壇の外装

が明らかになったことで

す。

問

住民からの要望書は多岐にわたる内容となっていますが、整備委員会とはどういうものですか。また、住民との関係は。

生涯学習課長

整備委員
会は、町

教育委員会から諮問を受

け、佐野廃寺塔跡・金堂

跡の史跡整備について、

専門的見地に基づいて答

申を行う委員会です。

文化庁の手引きの中に、

地域住民の要望も参考に

されるものとなっています。

問

文化財が大切に生かされ、さらにそれが町の発展につながるためには、住民の関心と力を寄せ、協働のまちづ

くりを機能させることが欠かせないと思いますが、いかがですか。

町長

佐野廃寺を考え
る会でいろいろ

検討いただいていること

そのものが協働のまちづ

くりだと思っています。

問

文化財を生かす取り組みについて、公民館の果たす役割は。

生涯学習課長

公民館は、
文化財を

テーマにした講座などを

開催し、ふるさとの歴史

を学ぶ機会を提供します

その企画と実施に当たっ

ては、文化財専門員が大

きな役割を担いますが、

公民館を含めた生涯学習

課全体で連携を取りなが

ら進めます。

問

協働のまちづくりにおける職員の役割と待遇について、具体的な説明を。

企画公室長

自分たちの
町を暮らし

よくするために、住民の

みなさんと行政が一緒になって、知恵と力を出し合い、適切な役割分担のもとに連携協力して、まちづくりに取り組むのが協働のまちづくりで、その橋渡しの役をするのが地区担当職員です。その待遇については、職員自身の居住地域での取り組みでは、担当職員としての任務はあるものの、住民のみなさんと同じ立場です。自身の居住地域でないところでの取り組みでは、基本的には勤務時間の割り振りという対応になります。

問

企画公室にまちづくり推進係が設けられていますか。

町長

これからさまざま
なことが起こ

ってきますので、状況を見ながら、よりよいまち

づくり推進系の在り方を

考えていきたい。

本町における防犯カメラの実態

町長 計画を前倒しにして設置を進める



溝北好一 議員

問 近年犯罪の多様化、青少年の凶悪事件の増加に伴い、予防または犯罪の解決に防犯カメラの必要性が問われています。本町における防犯カメラの実態は、どうなっていますか。

答 町内防犯カメラの設置状況は、平成25年度末で32カ所、うち屋外40台です。

問 防犯カメラ設置の計画はありますか。

答 防犯自治会が笠田駅前周辺に4台設置計画を進めています。

問 本町の青少年犯罪の実態は。

青少年センター 青少年事務局長の犯罪は横ばいです。

問 防犯カメラの必要性についてどう考えますか。

青少年センター 犯罪の抑止に繋がります。

町長 スポーツで魅力ある町づくりを 現有スポーツを 進化させていきます

問 本春秋、待望の紀の国わかやま国体が開催されますが、本町はなぜ少年男子ゴルフですか。

国体推進室長 県国体準備室より競技について意向調査があり、施設の関係上少年男子ゴルフになりました。



問 安心して住める町づくりのため公共施設に計画的な設置を。また、自家設置に補助を検討願います。

町長 自家用設置を含め計画を前倒しにして他機関と調整し進めます。

問 事業等で変えていかなければならぬもの、変えてはいけないものがあります。44年前の黒潮国体時、本町は町民を巻き込み軟式テニス(ソフトテニス)一色で、当時本町のスポーツとして継続させていくと言われましたが、その後どうなりましたか。また、町が当時から継続して、軟式テニスを町民含めメインスポーツとしていれ

ば44年後現在、テニス施設としても進化していたのではないですか。

生涯学習課長 現在もソフトテニスには活発に活動しています。

国体推進室長 国体でソフトテニスは、全天候型のコートが必要です。

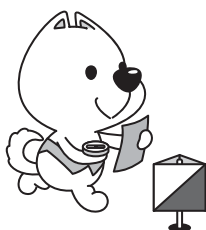
問 本町にも素晴らしいスポーツがたくさんあります。執行部は行事をこなすことなく、課題を進化させることが大切だと思います。子どもの実現に向け、この機会にかつらぎスポーツ宣言をしてはいかがですか。

生涯学習課長 健康推進を含め、本町はスポーツ推進計画の策定を検討しています。

問 篠山マラソンのように進化を続けられ、町の発展に寄与します。国道480号開通マラソンを町挙げて計画さ

れてはと考えますが、意見を聞かせてください。

町長 健康づくりに生涯スポーツは大変意義があります。しかし、子どもの減少等で特化しにくくなっています。万葉マラソン等も発展できたらと考えます。観覧席保有施設については、近隣含め課題として考えていきます。



観光交流人口の拡大には 広域的な観光振興共同体組織が必要

町長 近隣市町とともに進めていく



藤本 憲一 議員

問

11月開催の産業まつり、参加者数は、平成24年から2日間開催となりました。平成24年は6000人、25年は7000人、26年は9000人です。

問

年々盛況になっている産業まつりですが、事前の調査によりますと近隣の方が参加しているのが実情です。遠くのお客はいろいろな事情で来れない方が多くいると考え、友好都市の和泉市・守口市へ出張イベントを行い、逆に物を持っていくという発想を提案します。

町長 現実的には費用の問題、会場・出店者の問題があって、直ちにとというのは難しい気がします。ただ、守口市の土居駅前商店街に友好市場を設けて、かつらぎ町の物産を販売しています。和泉市とは、商工まつりに町の団体が産品を販売しています。これについてはもう少し出店数や品数を増やすことを考えています。



産業まつり

問

次に道の駅ですが、京奈和自動車道が開通したためお客が減っていませんか。

産業観光課長

平成24年度24万8970人、平成25年度23万7069人です。平成26年度集計はまだですが、増加傾向にあります。

問

道の駅は京奈和が開通しても影響は少なかつたようですが、

隣の西部公園オープンで橋本・九度山合同イベントが開催できるようであれば、ますますの集客増が望めます。ぜひ、イベント広場設置を基本計画に組み入れていただきたいと要望します。平成26年度ふるさと納税4000件のうち関東圏が半数あったと聞いています。寄附者がすべて、かつらぎ町に関心があるとは思いませんが、ふるさと納税をきっかけに、少数の方でも興味を持ってもらうことによってPR活動

となります。夜行高速バスが五條や和泉中央まで来ていることに目をつけ、これを利用すれば関東圏がぐんと近づき広範囲の観光交流を考えていくことができます。今、紀北地方で民間にも協力を願う広域観光振興共同体組織づくりが進んでいます。観光交流人口拡大のため、この組織に参加する気持ちがあるかどうか。

町長

内容を把握できていません。確認して、どうするか決めたい。観光については、1町では無理があります。近隣市町とともに進めていく必要があります。

まとめ

人口減少・少子化等抱える問題解決には、観光人口の拡大ひいては広域で進めていく観光事業への参加等



道の駅 紀の川万葉の里

グローバルな視点で取り組む必要があります。

次期町長選挙への出馬は

町長 課題解決のため出馬します



浦中隆男 議員

問

井本町長は平成23年10月に就任以来、最重要課題である町の活性化・財政健全化に取り組み、かつらぎ町発展のため日夜努めております。町長就任後の平成23年10月臨時議会において、取り組むべき行政課題の中で直ちに取り組むべき課題として

- ・水道料金の値下げ
- ・国民健康保険税の減額
- ・町長・副町長・教育長の報酬の減額
- ・中学校の給食
- ・行政改革

また、任期中に取り組むことでは
 ・「町の活性化」として

農産物の直売所の設置、京奈和自動車道パーキングエリア内地域特産品販売所の設置、世界遺産と自然を生かした観光振興、廃校の活用、「財政健全化」として、財政基盤の強化のために歳出の見直し。

- ・「住民が笑顔で暮らせるまちづくり」のための定住支援として、定住促進住宅の全室入居の実現、幼稚園・保育所の統合施設の設置。
- ・「住環境の整備」では、水道未整備地域の飲料水の確保、合併浄化槽設置補助金の充実。
- ・「防災対策の推進」では自主防災組織の整備
- ・「幹線道路網の早期完成」では、府県間トンネルの開通、国道480号志賀バイパス・県道那賀かつらぎ線・京奈和自動車道路・紀の川左岸農道の早期完成
- ・「協働のまちづくり」の7点を掲げました。

この他に、花園ふるさとセンターの改修、妙寺団地等町営住宅の建て替え、農産物と町内産品の販売促進など多くの諸課題を掲げ取り組んでいます。これまでの町政に対する取り組みをどう総括しますか。

町長

住民の皆さんに約束したいいくつかの点で実現できたもの、実現に向けて建設が始まるものなど、約束したことは一定の方向が出つつあると思っています。ただ町の活性化では、まだまだ十分な成果を得るに至っていません。

問

農産物直売所の建設も始まりますが、どう運営するか課題が残っています。こども園の建設と運営もこれからです。また、庁舎の建設にも取り組むとしています。将来の構想も含め課題が山積するなか、町長の任期は10月までとなっていますか。

ます。次期町長選の出馬についてどう考えていますか。

町長

さまざまなことがまだ完成に至っていません。また、多くの課題もあります。次期の任期に向けて引き続き担当したいと思っています。



南山から望むかつらぎ町

まとめ

次期町長選への出馬の決意を伺いました。今後のまちづくりに期待します。町長の職務は大変激務です。健康に十分留意され、町政発展のためにまい進していただきたいと念じます。

3月5日
委員会開催

総務産業常任委員会

継続審査となっていた請願第1号「集团的自衛権の行使に反対する意見書の提出を求める請願」について審査をしました。さらなる調査が必要ではとの意見が出され協議を行った結果、継続審査となりました。

陳情第5号「『農協改革』に関する意見書の提出を求める陳情」については、陳情者より取り下げの申し入れがあり、協議を行った結果申し入れに同意しました。

また平成27年度予算について学習しました。

3月4日
委員会開催

議会活性化特別委員会

議会基本条例は平成27年度内に完成させることを全員一致で確認しました。

6月会議に、章立ての骨子(案)を提出し、9月会議から12月会議にかけて条例の成文化を行う方向です。翌年には、条例(案)の内容について各団体、個人から意見を聞く機会を設け、平成28年6月会議には成立させていきたいと考えています。

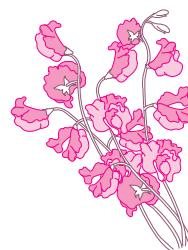
厚生文教
常任委員会

3月6日
委員会開催

所管課ごとに平成27年度の予算と事業を学習しました。

視察研修で 学びました

議運・活性化合同視察研修報告



有田川町議会が 本町議会を視察

平成27年1月23日、議会活性化の取り組みを研修するため、有田川町議会の方々が本町に来庁されました。

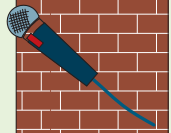


2月4日岩手県滝沢市議会を訪れ、議会改革の取り組みとして、同市議会基本条例策定の経過と実践について研修しました。同市議会基本条例は、市民議会、議会報告会、市民懇談会、政策討論会を定めたり、議会モニター、サポーター、アドバイザー制度など市民参加の仕組みが豊富に取り入れられ、内容は充実していました。

同条例制定後の一年間の実践としては、欲張りすぎで「消化不良」の面もあり、課題もありました。

本町では従来から議員間で議論してきた、改革の内容を盛り込んでいくことにしています。議会基本条例の制定にあたっては、議員間の共通理解が重要だと、全員一致で再確認しました。

がんばる人紹介



笠田の郷さとの会

今回は、笠田駅にある「ステーション笠田の郷」を訪ねました。

いつオープンしたんですか

笠田の郷は、平成23年6月に活動を始めました。運営は笠田東1自治区の

中にある「笠田の郷の会」(ボランティア30人)が担っています。活動を負担に感じている人はいません。主な事業として、町内はもちろん、伊都地方や高野山の観光案内を行っています。

観光で記憶に残ることは

串柿まつりの時に、シヤトルバスの連絡がうまくいかなかった6人を四郷に案内したことがありました。6人は北海道の旭川からの方で、毎年賀状のやり取りをしています。「ぜひ北海道に来

てください」とお誘いを受けています。他府県の人から「時間待ちができるいい所を作っていたらいいだろう」と声がかかることもあります。

もちろん、バスの本数が少ないので困っている人にも出会います。私たちは、自治区を通じて、事例を紹介しながら、丹生都比売神社行きのコミユニティバスの増便と、参拝の間、バスを30分待機させるよう要望し、実現してもらったこともあります。

どのような活動を行っていますか

昨年度は、笠田地域の観光マップを作りました。行事としては、観光案内のための研修会と観光のための写真展示、笠田高校の生徒による販売実習のための出店、保育所・幼稚園児作成の七夕まつ

り、ぶどうの販売、児童の書道作品展、紀の川万葉の里マラソンでの柿の葉寿司販売、歳の市の実施などを行いました。

何かエピソードはありますか

冷暖房のある待合所として役割を果たしています。過去に2回、大雪で電車が遅れ、迎えに来る人も雪で遅くなり、高校生がたくさん帰れなくなりました。夜の8時まで開けたんですが、翌日、笠田高校から感謝されました。

文庫本などが自然に集まってきたので、「ぼっぽや文庫」ができました。この文庫は、持ち帰り自由な図書館として親しまれています。ある時、椅子に笠田ハイスクールと英語書きされた座布団が置かれていました。笠田高校に尋ねると、「家庭

議会だよりは読まれていますか

関心のある記事を中心に読んでいます。あれだけの情報を集めるのは大変だと思っています。

